

なりとも毛付をなしたる以上は、藩より變地御領米を得る能はざるが故に、藩は起返しの努力に對し、勢子米の名義を以て一作毎に補助を與へ、年々その額を減じて、全然回復せしめるのであつた。

ヘンチセコヤク 變地勢子役 藩政の時、變地起返を督勵進捗せしめるのがその職務で、十村子弟等の命ぜられる所であつた。

ベンテンジマ 辨天島 羽咋郡安部屋の磯に近い島。

ベンテンジマ 辨天島 鹿島郡和倉の海岸に近く存し、老松の下に辨天祠あるを以て稱せられた。文化の郡方調書には、温泉より三十間沖に在つて、長十間幅五間程とある。今は埋立によつて地續きになつた。

ベンテンジマ 辨天島 珠洲郡眞脇の内なる姫の部落から西方の沖にある島。又磯島ともいふ。能登名跡志に『三船山に對してたんとる島・磯島といふあり。秀景にして、磯島は辨財天の社あり。』と記する。

ベンテンジマ 辨天島 珠洲郡嶋島の部落の沖に在る島。

ヘンルイ 變類 享保二十年から寛保二年に至る間に、加賀藩に起つた喧嘩・變死・亂心・窃盜・殺害・逃走・捨子・離婚等、民事・刑事に關する取扱の先例集である。

ホアンイン 保安院 大聖寺藩主第五代前田利道の側室井上氏の法號。詳しくは保安院

木

泰室妙釋大姉。

ホイロパン 焙爐橋 金澤瑞泉寺の側なる橋梁をいうた。昔此の近邊に寶次郎と言ふ者が居住したので、寶次郎橋と稱したのを、後に誤つたものであるといはれる。

ホウアンチリブクロ 忘庵ちり藝 一冊。直山大夢の發句を、その門下晚霞(後の文藝)が集めた寫本で、その頃大夢の所居を忘庵と稱してゐたのである。天保十年夏から十四年春までのものと考へられる。

ホウウンイン 法雲院 大聖寺藩主第五代前田利道の子利貞の法號。詳しくは法雲院裏江宗清童子。

ホウウンジ 法雲寺 羽咋郡柴垣に在つて、日蓮宗に屬する。元和元年日蓮の建立といふ。ホウウンリヨウトウ 關靈長騰 金澤天徳院十代の住持。明和二年三月廿四日寂。

ホウエイザンホンノウジキ 鳳樂山本光寺記 一卷。金澤卯辰本光寺の縁起である。

ホウエイシ 寶永誌 寶永元年御郡奉行から書上げた加賀・越中の地誌に關する集録で、別名を加越舊蹟記ともいふ。又異本寶永誌二冊は、前記のものに元祿・享保の調査を加へ、且つ難混記をも参照したものである。

ホウエイジ 法英寺 石川郡中屋に在つて、眞宗東派に屬する。もと鳳至郡南に居たが、明治廿六年九月今の地に移つた。

ホウエイジ 法榮寺 鳳至郡比良に在つて、眞宗西派に屬する。山號は經石山。

ホウエイジ 法榮寺 珠洲郡松波に在つて、眞宗西派に屬する。

ホウエンクシユウ 方圓句集 一冊。袖中類題と冠してある。大阪の此花庵鶯宿が編す

る所で、梅室の發句集であるが、末に附合も載せてある。序は嘉永六年霜月松陰葵屋。跋は癸丑一陽旦宿野野野。江戸須原屋茂兵衛等。京都丸屋善兵衛等。浪花河内屋喜兵衛等。ホウエンジ 寶圓寺 (一)沿革—金澤下百々女木町に在つて、曹洞宗に屬する。もと越前の高瀬に在つたもので、前田利家が府中に治した時、こゝに嚴慈の靈牌を安んじ、その寺僧大透圭徐を信用すること厚かつた。天正九年利家の能登所口に遷つた時、圭徐を招いて郊外に亦寶圓寺を建てしめた。後に長齡寺と改めたもの即ち是である。十一年利家金澤に移り、又寶圓寺を建て、圭徐を開祖とした。初め今の兼六園の東隅にあり、供養米草高二百二十三石二斗五升を寄進せられ、金澤に於ける前田氏最初の香華院である。寺記に『天正十一年癸未利家卿築城郭於加之金澤。即于城之東南之際再造立寶圓禪寺。云々。曾依瑞夢之感。城門與寺門相對。山號嚴慈山。』といふものは、その最初の状況である。元和元年檢地の際寺領は減じて二百三十三石六斗になり、六年その地に奥村榮明を置いたから、寺を小立野百々女木一萬千六百坪の地に移した。後藩は大坂役に於ける戦死者を弔はんが爲に、祠堂銀を寄進して、士民に貸附利殖せしめたから、寺産大に豊かであつた。寺堂は寛文九年前田綱紀之を再建し、寶曆九年又罹災し、三年の後に復興、明治元年祝融に罹つて、後僅かに再興することを得た。又塔頭に永昌寺があつて、慶長十八年眞山繁應の創める所であつたが、今は無い。

(二)二世代—當寺の住僧は、開山大透圭徐、二代象山徐芸、三代廣山想陽、四代置山繁應、五代泰山雲英、六代關室徐天、七代傑山雲英、八代月嘯虎白、九代丹嶺祖衷、十代心空隆玄、十一代芳山珠聯、十二代道費瑞晃、十三代全源亮滿、十四代大用慧照、十五代一如孝順、十六代寂庵道光、十七代宜道契心、十八代香外石蘭、十九代巨海匡津、二十代石居巨道、廿一代祥雲千英、廿二代悟庵顯道、廿三代天外獨龍、廿四代佛山海印、廿五代林憩俊鳳、廿六代慈鼎九峰、廿七代活翁達禪、廿八代覺峰大仙、廿九代一統大牛、三十代如聚玉岡、三十一代大孝宜雄、三十二代關秀香外、三十三代大機玄乘、三十四代太室宗桓を経て、瑞源瑤に至り明治期に入る。

ホウエンジ 寶圓寺 ↓チヨウレイジ 長齡寺。

ホウエンジ 寶圓寺 越前府中の郊外高瀬に在つて無縁の舊寺であるが、天正三年前田利家・佐々成政・不破光治のその地を領するに及び、寺主大透圭徐に歸依して、十月二日之が再興を命じた。

ホウエンジ 法圓寺 江沼郡上原に在つて、眞宗東派に屬する。

ホウエンジ 法圓寺 河北郡八田に在つて、眞宗大谷派に屬する。もと道場で、明治二年寺號を公稱した。

ホウエンジウラモン 寶圓寺裏門 金澤寶圓寺の後方谿谷に面した所にもと門があつたが、その礎石は非常に巨大なるものであつた。蓋し寛文九年前田綱紀が再建を命じた時、馬坂口に改めて山門を造營し、従前の表門を裏門とした遺址である。

ホウエンジシモシドウ 寶圓寺下祠堂 ↓シモシドウ 下祠堂。